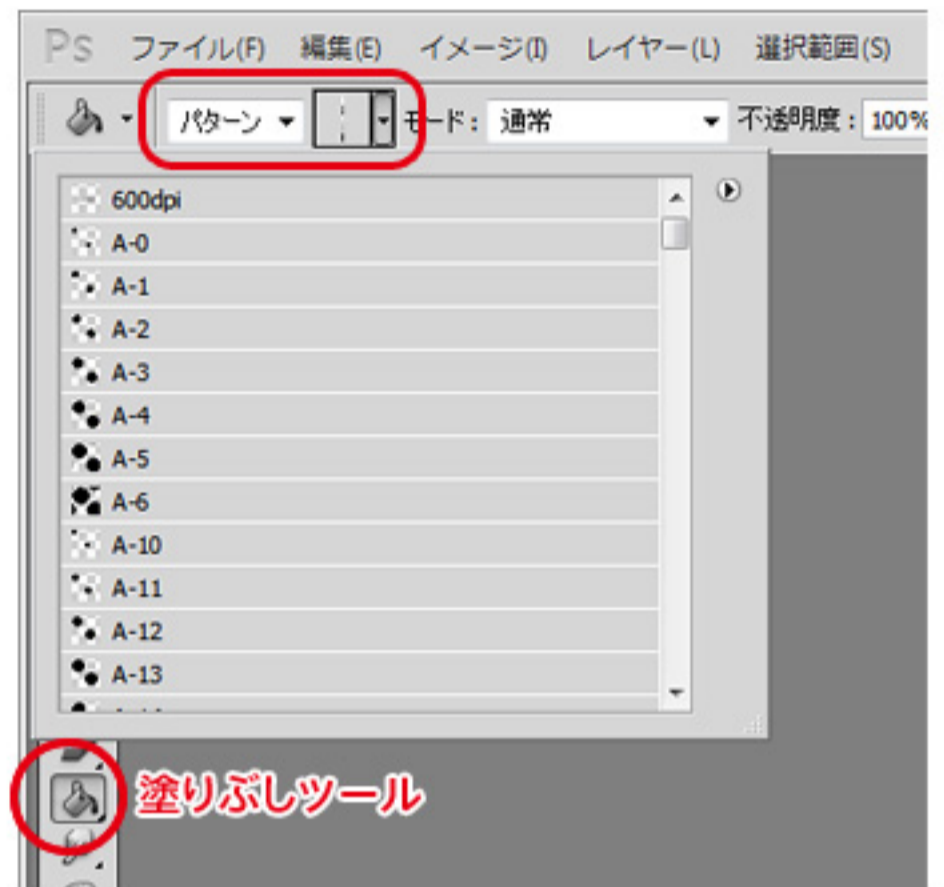


■Photoshopでの使用方法

Photoshop用フォルダの中にある、パターンファイル(.pat)の「DIGITALTONE CP_600dpi.pat」または「DIGITALTONE CP_1200dpi.pat」をダブルクリックすると塗りつぶしツールのパターンとしてPhotoshopに自動で登録されます。

※(.pat)はファイルの種類を表す拡張子です。パソコンの設定やOSにより表示されない場合があります。



patファイルの600dpiまたは1200dpiは原稿の解像度と同じものを使いましょう。

patファイルをクリックすると、右側の画像のようにPhotoshopに登録されていることがわかります。

使用する際は、塗りつぶしツールを選択後、画面左上のプルダウンメニューで「描画色」から「パターン」を選択し、となりに表示されるパターン一覧から使用したいパターンを選択後、塗りつぶしたい選択範囲を塗りつぶして使用します。

前もって描画色で塗りつぶした範囲をレイヤー効果のパターンオーバーレイで表示するなどPhotoshopの使用方法を工夫すると様々な使い方ができます。

古いバージョンのPhotoshopや他のソフトでパターンとして使いたい場合は、同封のPNG画像を個々にパターン登録してご使用ください。

ただし、パターン素材単体では、単なる画像のため何の機能もありません。

使用するソフトの機能によっては使うのが困難になる場合がありますので対応しているソフトとバージョン以外での使用は自己責任でお願いいたします。

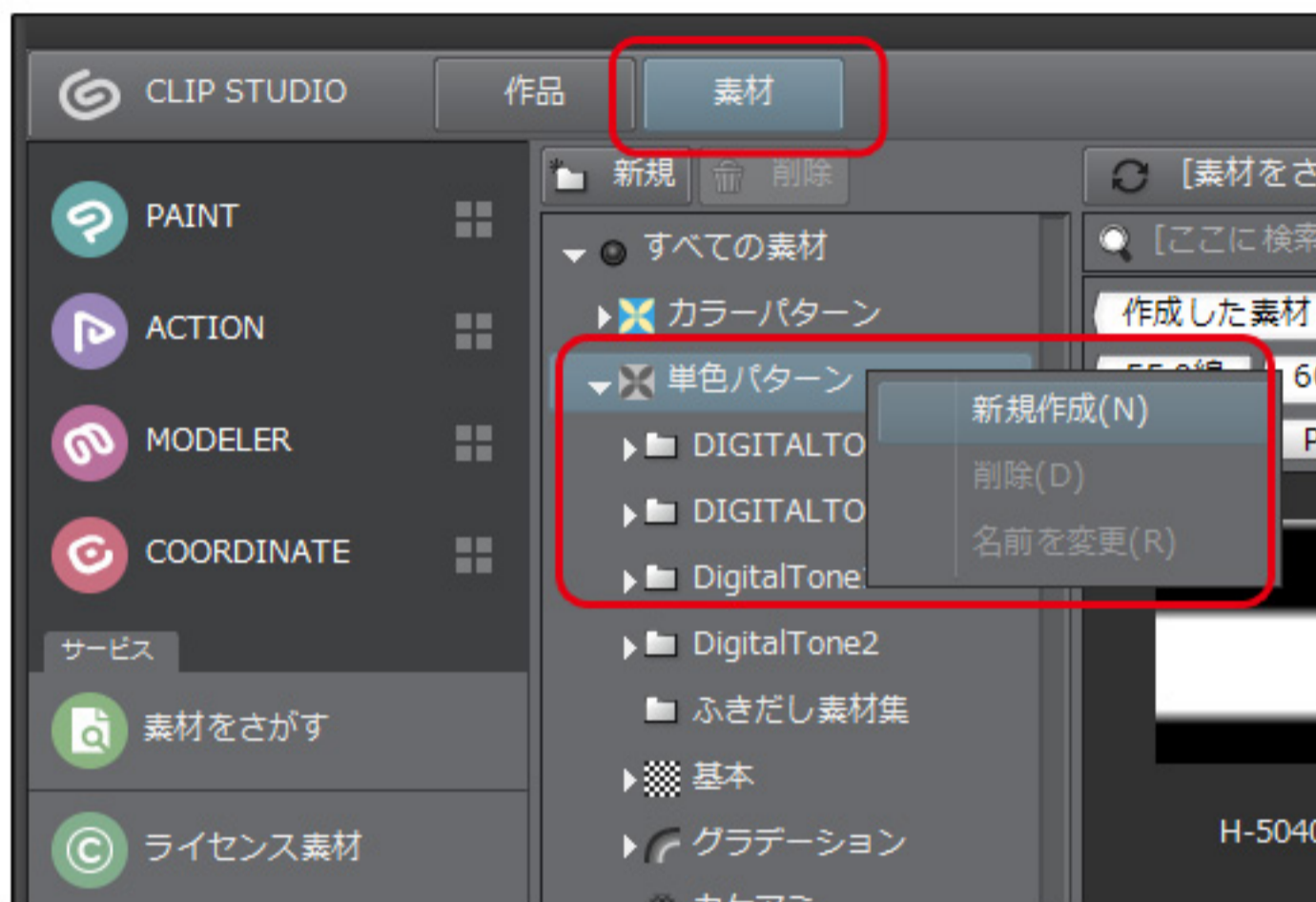
→次ページ 「CLIP STUDIOでの使用方法」

【デジタルトーンCLの使用方法】

■CLIP STUDIOでの使用方法

最新版のCLIP STUDIOをご利用ください。

まず、使用するための準備として、CLIP STUDIOの起動後に最初に表示される画面で、素材一覧を選択します。次に単色パターンを右クリックし、新規作成を選択してフォルダを1つ作成します。



フォルダ名は「DIGITALTONE CP」を作成します。フォルダ名は全て半角英数字にしてください。フォルダ名は、右クリックで「名前を変更」から変更できます。

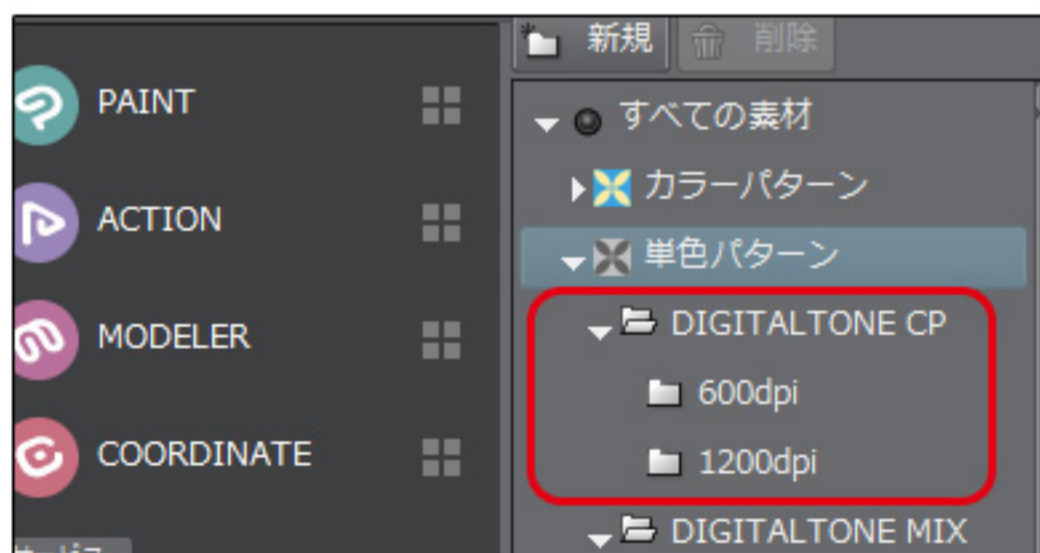
次は、「DIGITALTONE CP」をクリックし、新規フォルダを2つ作り、「600dpi」と「1200dpi」を作成します。フォルダの階層位置と名前が少しでも違くと素材が使えないのでご注意ください。

■単色パターン

└DIGITALTONE CP
├600dpi
└1200dpi

【注意】

フォルダ名は必ず半角英数字にしてください。



■CLIP STUDIOでの使用方法 - つづき

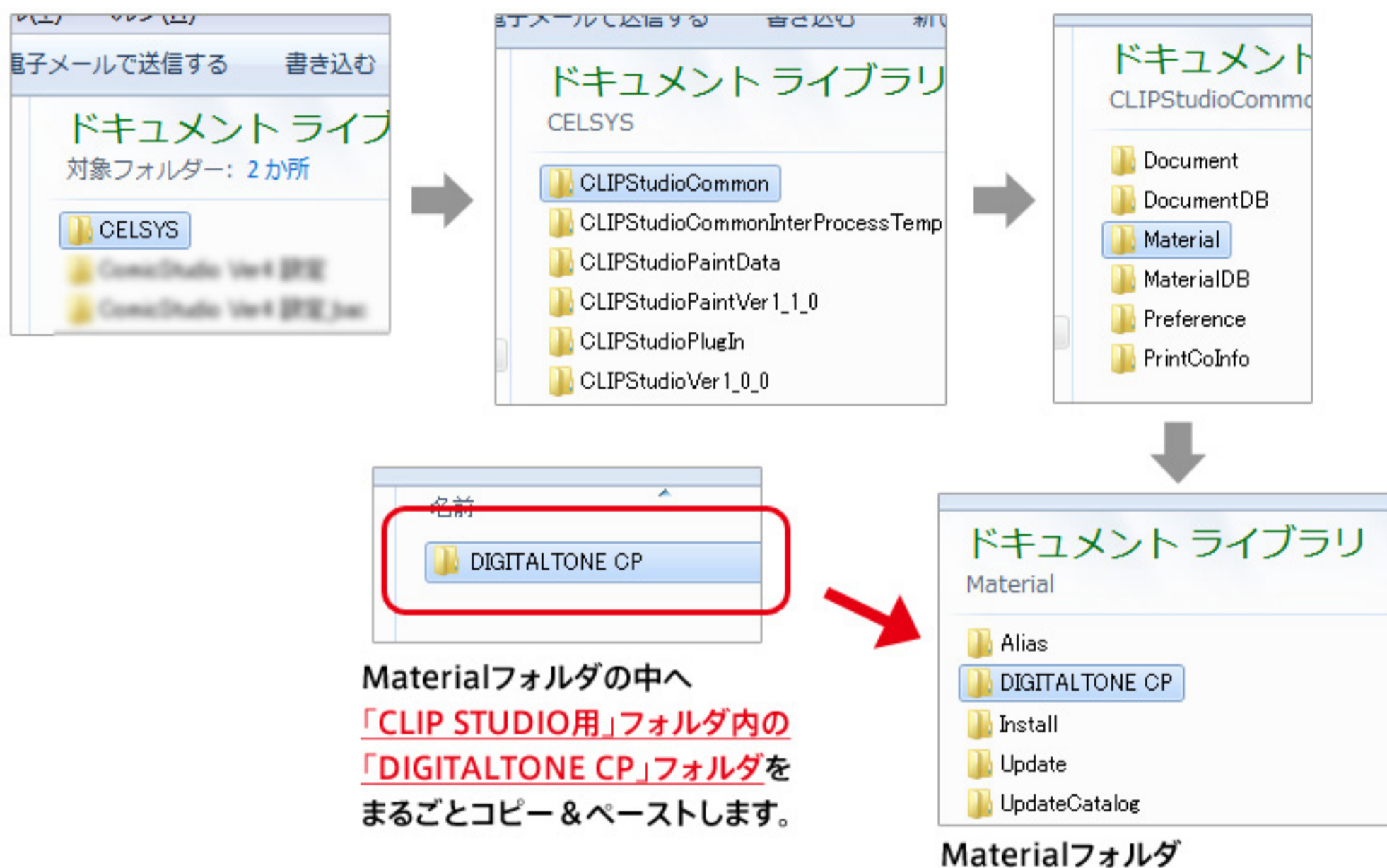
次に、デジタルトーン素材を以下の場所へコピー & ペーストをします。

■Windowsは、マイドキュメント内のCELSYSフォルダ>CLIPStudioCommon>Material
(または、C:\Documents\CELSYS\CLIPStudioCommon\Material)

※「C:」はCLIP STUDIOをインストールしたハードディスクにより変わります。

■MacOSは、書類内のCELSYS\CLIPStudioCommon\Material

このMaterialフォルダの中に、デジタルトーン素材の「CLIP STUDIO用」フォルダ内にある「DIGITALTONE CP」をフォルダごとコピー & ペーストしてください。

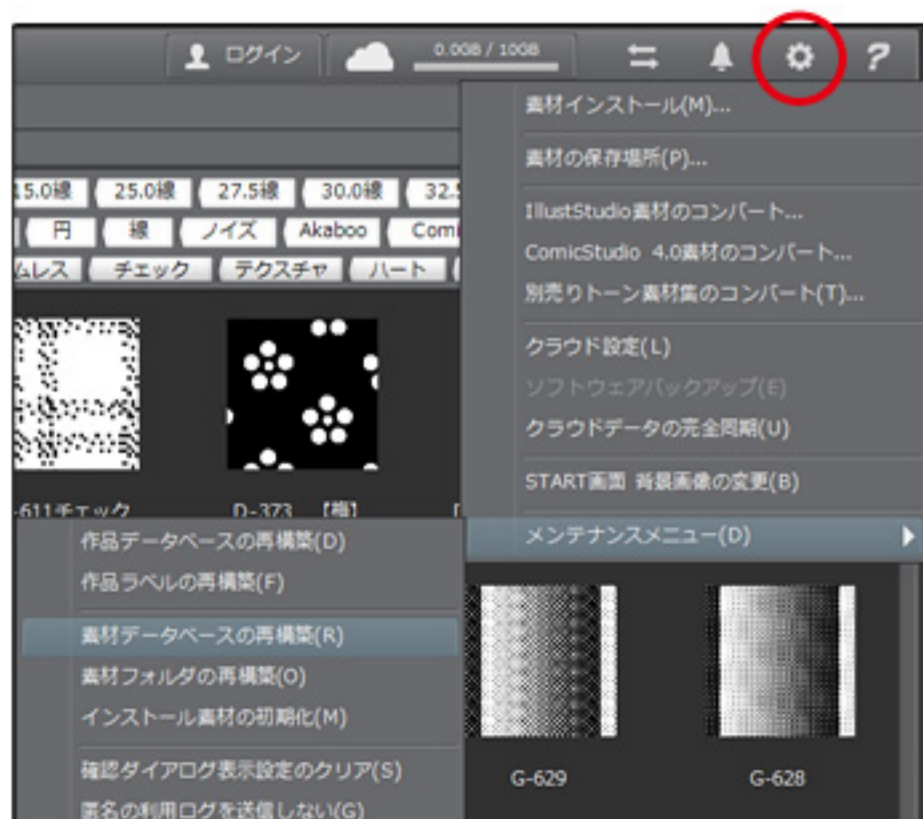


CLIP STUDIOの素材一覧に戻り、画面右上にある設定アイコン(?マークの隣りの歯車アイコン)をクリックし、メンテナンスメニューから素材データベースの再構築を選びます。

素材一覧のフォルダ内にデジタルトーン素材が表示されましたら無事インストール完了です。

後は、使いやすいように、素材一覧の画面でお好みに素材をそれぞれフォルダに分けても問題ありません。

素材の整頓は、CLIP STUDIO PAINT[素材]パレットのメニューの整列方法>フォルダタグを選択すると番号順に整頓されます。



※アミ点が含まれる素材は必ず原寸で使用して下さい。拡大・縮小するとモアレが発生します。